

安全データシート (SDS)

1. 製品及び会社情報

製品名 防錆・除錆 Appre 液

会社名 日本化材株式会社

住所 長野県岡谷市東銀座 2-1-24

担当部門 営業部 営業開発

担当者 武田一広

電話番号 0266-23-2081 FAX 番号 0266-24-0132 メールアドレス takeda-k@nkazai.com

緊急連絡先 日本化材株式会社 電話番号 0266-23-2081

2015年 1月 9日作成(見直・改訂など無)、2019年 10月 1日記載事項確認

推奨用途及び使用上の制限種類：金属用下地処理液

主な用途：金属表面の錆除去及び防錆、メッキの前処理、スケールや黒皮の除去

2. 危険有害性の要約

GHS分類

引火性液体：区分外

急性毒性 経口：区分外

急性毒性 経皮：区分外

急性毒性 吸入(粉塵、ミスト)：区分 4

皮膚腐食性／刺激性：区分 1

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性：区分 1

呼吸器感作性：分類できない

皮膚感作性：分類できない

生殖細胞変異原性：分類できない

発がん性：区分外

生殖毒性：区分外

授乳に対する、または授乳を介した影響：分類できない

特定標的臓器／全身毒性(単回ばく露)：区分 1(呼吸器)

特定標的臓器／全身毒性(反復ばく露)：分類できない

吸引性呼吸器有害性：分類できない

水生環境有害性(急性)：区分 3

水生環境有害性(慢性)：区分外

オゾン層への有害性：分類できない

GHSラベル要素 絵表示



健康有害性シンボル

注意喚起後：危険

危険有害性情報：・吸入すると有害（ミスト）

- ・重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
- ・呼吸器の障害
- ・水生生物に有害

注意書き

安全対策：・ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

- ・取扱い後はよく手を洗うこと。
- ・この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
- ・屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
- ・環境への放出を避けること。
- ・保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

応急措置：・直ちに医師に連絡すること。

- ・飲み込んだ場合、口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
- ・皮膚又は髪に付着した場合、直ちに汚染された衣類をすべて脱ぎ又は取り除くこと、そして皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。
- ・吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師に連絡すること。
- ・汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。

保管：・施錠して保管すること。

- ・可燃物及び禁忌物質から離して保管すること。

廃棄：・内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質／混合物：混合物

化学物質名	CAS No.	含有量	化審法	安衛法
オルトリン酸	7664-38-2	50%~60%	既登録	既存
有機酸(食品添加物)	非公開	2%以下	既登録	既存
リン酸塩水和物	非公開	1%以下	既登録	既存
界面活性剤	非公開	少量	既登録	既存
水	—	40%~50%	既登録	—

4. 応急措置

眼に入った場合：・直ちに流水で充分洗眼し、直ちに医師の診断及び手当を受ける。

皮膚に付着した場合：・石鹼など使用し流水で洗浄し、外観に変化や痛み、違和感がある場合は医師の診察及び手当を受ける。

吸入した場合：・直ちに空気の新鮮な場所に移し暖かく安静にする。直ちに医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合：・誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受ける。

・嘔吐物は飲み込ませず、また医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

5. 火災時の措置

消火方法：・本製品は不燃性ですが固形成分は燃焼します。

- ・適切な保護具(耐熱性着衣など)を着用する。
- ・可燃性のものを周囲から素早く取り除く。
- ・指定の消火剤を使用する。
- ・高温にさらされる密封容器は水を掛けて冷却する。
- ・消火活動は風上より行う。
- ・水を消火に用いてはならない。

使用可能消火剤：炭酸ガス，泡，粉末

6. 漏出時の措置

- ・作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。
- ・漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
- ・付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置をする。
- ・河川等へ排出され、環境への影響を起ささないように注意する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：・換気の良い場所で取り扱う。

- ・容器はその都度密栓する。

・眼及び皮膚、衣類に付着しないように適切な保護具を着けて作業する。

保管：・腐食されない容器に密閉して冷暗所に施錠して保管する。

・アルカリ類から遠ざけて保管する。

8. 暴露防止措置

設備対策：・排気装置を付けて、蒸気及びミストが滞留しないようにする。

・屋内作業の場合は、作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が暴露から避けられるような設備とする。

保護具：・保護メガネ、ゴム手袋、作業用服、耐酸性ミスト用マスクを着用する。

暴露防止及び人に対する保護措置許容濃度及び管理濃度(職業的暴露限界値、生物学的限界値)

化学物質名	管理濃度	ACGIH (ppm)	ACGIH (mg/m ³)	IARC	LD50
オルトリン酸	設定無し	—	TWA 1mg/m ³ STEL 3mg/m ³	—	(経口) rat 1530mg/kg (経皮) rabbit 2740mg/kg (吸入) rat > 0.85mg/L

9. 物理的及び化学的性質

状態：1.液体

色相：無色透明

臭気：無し

密度：1.20～1.30(推定値)

pH 値：2.0 以下

沸点：132℃(推定値)

溶解性：水に親溶、アルコールに可溶

10. 安定性及び反応性条件

安定性：・アゾ化合物、エポキシドの影響下にて激しい反応を起こす。

危険有害反応：アルカリ類と激しい反応を起こす可能性がある。

11. 有害性情報成分の健康有害性情報(危険有害物質を対象)

化学物質名	急性毒性			
	経口	経皮	吸入(蒸気)	吸入(粉塵・ミスト)
オルトリン酸	区分 4	区分外	分類対象外	区分 3
化学物質名	皮膚腐食・刺激	眼損傷・刺激	呼吸器感作性	皮膚感作性
オルトリン酸	区分 1	区分 1	分類できない	分類できない

化学物質名	生殖細胞変異原性	発がん性	生殖毒性
オルトリン酸	AMES 試験：陰性(IUCLID)	分類できない	分類できない
化学物質名	特定標的臓器(単回)	特定標的臓器(反復)	吸引性呼吸器
オルトリン酸	区分 1(呼吸器)	分類できない	分類できない

組成物質に関するその他の有害性情報：特別な有害性は報告されていない。

1 2. 環境影響情報

環境影響情報：漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意する。

特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

分解性：知見なし。

蓄積性：知見なし。

魚毒性：知見なし。

成分の水生環境有害性情報(環境有害物質を対象)

化学物質名	水性環境有害性(急性)	水性環境有害性(慢性)	オゾン層への有害性
オルトリン酸	区分 3	区分外	分類できない

1 3. 廃棄上の注意

- ・廃棄物は許可を受けた、産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。
- ・容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さない。
- ・排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託をする。

1 4. 輸送上の注意

共通事項：・取扱い及び保管上の注意の項の記載に従う。

- ・容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。

陸上輸送：消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる法に従うこと。

海上輸送：船舶安全法に定めるところに従うこと。

航空輸送：航空法に定めるところに従うこと。

国連番号：1805

国連分類：8

容器等級：III

指針番号：154

1 5. 適用法令

- ・毒物及び劇物取締法 該当しない。
- ・労働安全衛生法 通知対象物質及び表示対象物質(オルトリン酸)
- ・危険物船舶輸送及び貯蔵規則 腐食性物質
- ・消防法 該当しない。
- ・悪臭防止法 該当しない。
- ・水質汚濁防止法 該当しない。
- ・PRTR 法 該当しない。

1 6. その他の情報

コメント：・危険・有害性の評価は現時点で入手出来る資料、データに基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の手扱いを対象としたものであって、特別な手扱いをする場合には用途・用法および状況に適した安全対策を実施の上、手扱いには十分に注意願います。

- ・すべての化学製品には未知の危険性・有害性があり得るため、手扱いには細心の注意が必要です。ご使用各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願い申し上げます。